

地域創生科目

グローバル・コラボレーション(ベトナム)

プログラム区分	海外実習
主幹部署・問合せ先	世界共生学科
研修先国・都市名	ベトナム・ハノイ
研修先	NPO 法人 SJ Vietnam (Solidarity Jeunesse Vietnam)
プログラム概要	<p>このプログラムは、学生がベトナムの農村の地元家族を支援し、基本的な生活環境を改善する国際サービス・ラーニング・プログラムです。ほとんどのプロジェクトは、国連の持続可能な開発目標 6「すべての人のための水と衛生の確保と持続可能な管理」に沿ったトイレか貯水槽の建設を行うもので、「2030 年までに、すべての人が適切かつ公平な衛生設備を利用できるようにし、女性と女兒、脆弱な状況にある人々のニーズに特別な注意を払いながら、屋外排泄をなくす」という目標 6.2 に焦点を当てています。さらに、地元の家族と一緒に村に住むことで、学生は村の子供たちや家族と交流する機会を多く持つことができ、ユニークで貴重な異文化学習体験をすることができます。</p> 
日程	出発予定時期：2026 年 2 月中旬 帰国予定時期：2026 年 2 月下旬 期間：10 日間
単位認定	地域創生科目 グローバル・コラボレーション（2 単位）
他学科生の受入れ	可 受入れ可の他学科：全学科
語学研修の有無	無
引率者の有無	有
住形態	ホームステイ、現地の NGO 団体（SJV）が用意する宿泊施設
その他	このプログラムは、好奇心と冒険心が旺盛で、開放的で柔軟な学生に適しています。日々の振り返りは、このサービス・ラーニング・プログラムの重要な部分であり、学生は振り返りノートに自分の反省や考えを記録することが求められます。

体験記：世界共生学部 地域創生科目ベトナム 研修に参加して

所属学科：世界共生

氏名：見留史菜

本文：この研修は、首都ハノイから、車で4時間ほどの距離に位置する buok 村という小さな村に1週間滞在し、トイレを作るというボランティアプログラムでした。私自身、海外でのボランティア活動は、この研修が初めてだったこともあり、異国の地での生活に不安を覚えながら、研修初日を迎えました。しかし、コーディネーターを含め、現地の人々が優しく迎え入れてくださり、すぐに不安はなくなりました。トイレ作りは、レンガを運んだり、セメントを混ぜたりなどほとんどの工程を機械を使わず、自分たちの手だけで行いました。気温30度近くの炎天下での作業は想像以上に過酷でしたが、他のメンバーと声を掛け合い、楽しく作業を進めることができました。トイレが完成し、村人が喜んでくれている顔を見て達成感を感じるとともに、今、自身が生活している環境は当たり前ではないことを強く実感しました。より多くの家庭にトイレや飲み水タンクを設置できるよう、ぜひまたこのボランティアワークに参加したいと思います。また、研修のプログラムには、トイレ作りだけでなく、現地の子供たちとのアクティビティも含まれていました。子供たちと会話するためにはベトナム語を要するので、ハンカチ落としやいす取りゲームなど、なるべく言語を使わないゲームで楽しみました。ゲームのルール説明はもちろん、現地の人との会話は全て英語を用いたので、ボランティアワークを通じて英語学習もできました。この研修に参加して、発展途上地域とのギャップを目で見て学ぶことができ、良い経験になりました。今後も積極的にボランティア活動に取り組みたいです。

